



洗練された演奏で魅了しました

海上自衛隊佐世保音楽隊ふれあいコンサート in 志布志が開催されました。

10月9日、市文化会館において開催された同コンサートに、市内外から多数の来場者がありました。コンサートは、洗練された演奏と、笑いを誘うユーモアある演出もあり、満員の会場からは大きな拍手が送られ、「素晴らしい演奏に元気が出た」「また志布志で演奏してほしい」と感想が聞かれました。



教育長と熱く語り合いました

『教育長と語る会』が行われ、ジュニアリーダー12名が教育長と語り合い、交流しました。

10月1日、志ふれあい交流館にて、現在の志布志市や選挙権について、それぞれの思いや意見を発表しました。参加した子どもは「選挙に参加することは、未来の日本を一緒につくることにつながる。もっと志布志市の実情を知って自分の考えを持ちたい。」と感想を話しました。

地域の見守りネットワークが充実

「地域における見守り活動に関する協力協定」を締結しました。

9月30日、志布志市役所において志布志市、志布志市社会福祉協議会及び生協コープかごしまの3者が同協定を締結しました。今回の協定により生協コープかごしまが実施する配達販売や店舗販売時に見守り活動が行われることになり、支援を必要とされる方への迅速な対応が期待されます。



ロードミラーをきれいにしました

曾於南部郵便局長会（田浦天志部会長）のみなさんがロードミラーの清掃ボランティアを行いました。

9月24日、志布志地区のロードミラー60箇所の清掃を行いました。同会は、志布志市と大崎町の17の郵便局の局長で構成されています。ボランティア当日は、局長のご家族のほか社員など50名が参加し、交通の安全を守るため、雨風で汚れて見えにくくなったロードミラーを磨き上げました。



伝統芸能を身近に感じました

文化庁事業 文化芸術による子どもの育成事業「舞踊集団菊の会 日本の心を躍る」巡回公演が行われました。

10月17日、原田小学校体育館において同公演が行われ、同小学校児童と地域住民が伝統芸能を鑑賞しました。プログラムの最後には、同小学校の児童が約1か月間練習した銭太鼓を、菊の会の皆さんと共に披露しました。児童からは「伝統芸能を身近に感じられてよかった」と感想が聞かれました。



空手の大会で好成績を収めました

真輝塾の選手が空手の大会に出場し、8名が入賞するなど好成績を収めました。

9月22日、熊本県宇城市において開催された空手の大会「合戦松橋の戦い」に真輝塾の選手が出場しました。真輝塾の選手は、毎週水曜日と第2、第4金曜日に志布志武道館で練習しています。同大会では、組手の部で8名が入賞するなど日頃の練習の成果を十分に発揮しました。

戦争の悲惨さを語り継ぐ

戦中・戦後の暮らしを女性の視点で語り継ぐ少女会の皆さんが有明中学校でおはなし会を開きました。

10月19日、修学旅行で長崎を訪れる2年生41人を対象に平和学習の一環として実施され、紙芝居や体験談で戦争の悲惨さを訴えました。空襲や食糧難など今では想像もできない生活や、長崎で学徒動員していた際の被爆体験など、極限状況を生き抜いた方々の話に生徒たちは真剣に聞き入っていました。



祝！ FM 志布志開局 10 周年

2006年10月13日の開局以来、志布志の情報を届けてきたFM志布志が開局10周年を迎えました。

10月8日、志布志町志布志の島津ビル1階FM志布志スタジオにおいて、開局10周年を記念して「志布志の風」の特別番組が生放送されました。イベントや地域の情報、そこに住む人々の声を伝え続けてきたFM志布志の北川美喜子局長は「皆様のおかげでやってこられた」と感謝しました。

